

前サッカー日本代表監督

# 西野 朗 × 清水 勇人

さいたま市長

## 「サッカーのまちさいたま」 スポーツを活用した まちづくり

さいたま市出身の西野朗さんをお迎えし、  
NACK5スタジアム大宮で語り合いました。

### プロフィール

西野朗(にしの あきら)氏  
前サッカー日本代表監督、さいたま市(旧浦和市)出身。県立浦和西高校、早稲田大卒。Jリーグ所属クラブの監督を歴任し、監督としてJ1リーグ通算270勝(歴代1位)の成績を残している。平成30年4月にサッカー日本代表監督に就任し、2018FIFAワールドカップ ロシアに出場。8月にさいたま市スポーツ特別功労賞を受賞。

**市長** 明けましておめでとうございます。さいたま市。

**西野** 明けましておめでとうございます。

**市長** 昨年、厳しい環境の中でサッカー日本代表監督に就任され、2018FIFAワールドカップ ロシアでベスト16という素晴らしい成績を残されました。改めて、当時の思いをお聞かせください。

### FIFAワールドカップを振り返って

**西野** 日本サッカー協会は、2030年にワールドカップでベスト4、2050年には再び日本で開催して優勝するという壮大な目標を立てています。その流れの中で、選手たちが一丸となって勝ち取ったのがロシア大会への切符です。

ただ、直前で監督が交代となり、サッカーファンを始め、多くの方に動揺を与えてしまいました。時間が経たない中、試行錯誤を繰り返して、日本のサッカーを取り戻そうと、選手たちが今まで以上に結束した結果、日本のサッカーを世界に示すことができたと思います。

**市長** 特に決勝トーナメント初戦のベルギー戦は、素晴らしい試合でした。日本サッカーの底力を感じました。

**西野** 最後まで、自分たちの持ち味を生かし、積極的に立ち向かうゲーム展開でした。結果的には負けてしまいましたが、世界のトップチームに対して、あのような戦い方ができれば、もっと強くなれるのではないかと一戦でした。

**市長** そうですね。私も非常にわくわくして、興奮しながら応援していました。日本サッカーの光明を見たような感じがしましたね。

**西野** 4試合全てに力を出し尽くしました。いろいろなドラマがあり、駆け引きもあり、その中で皆さんに何かをお伝えできた気がします。

**市長** そうですね、本当にたくさんの方の元気と勇気をもらいました。

**西野** ありがとうございます。

**市長** 今回、西野さんが代表監督になり、また、さいたま市にゆかりのある選手が出場しました。市内ではパブリックビューイングを実施するなど、大いに盛り上がりました。市民の皆さんやサポーターに一言お願いします。

**西野** さいたま市は私が生まれ育って、サッカーを与えてくれたまちです。いろいろな方





から、さいたま市の応援がすごかったと聞いています。市民の皆さんの応援には、本当に感謝しています。

### サッカーのまちさいたま

**市長** 西野さんの幼い頃や、学生の頃のさいたま市のまちの印象はどのようなものでしたか。

**西野** まちの印象というか、本当にサッカー一色でした。当時テレビなどでサッカーの映像を見る機会はほとんどなかったのですが、小学校では休み時間になると、みんな一つのボールを追い掛けているという環境でした。私も本

当にサッカーそのものに魅せられてサッカーを始めました。生家の近くに駒場サッカー場(現・浦和駒場スタジアム)ができた時のことをよく覚えています。また、スポーツ少年団で周りとの競争できる環境もあり、さいたま市、浦和のサッカーどころに生まれてよかったなと思います。

**市長** 今我々がいるNACK5スタジアム大宮(旧・県営大宮公園サッカー場)は、西野さんにゆかりのある場所なんですよ。

**西野** そうですね。ここは当時の高校サッカーの最高の舞台で、憧れの地でしたね。ここに来ると当時を思い出します。

私が一番成長した高校時代のゆかりの場所です。



▲埼玉サッカー発祥の地の碑

**市長** さいたまのサッカーは1908年に、埼玉師範学校に蹴球部が創設されたことが始まりで、もう110年以上の歴史になります。市民の皆さんのサッカーに対する誇りと思えば、本当に強いと感じますね。

じますね。

**西野** 強いですね。立派なスタジアムがいくつもあり、国際試合が開催され、さらにJリーグのクラブが2つもあり、皆さんの目が肥えていますね。

**市長** かつては高校サッカーの強豪地域、サッカー王国という感じでしたし、今では浦和レッズと大宮アルディージャという2つのチームが活躍するまちでもありますね。

**西野** 2つもあるというのは本当です。さいたまだと思います。

**市長** そうですね。また、Jリーグなどで使用されるスタジアムも3つありますし、政令指定都市の中でもかなり恵まれていると思います。

### 地元で戦う緊張感

**市長** 西野さんがJリーグの監督の頃、埼玉スタジアム2002、浦和駒場スタジアム、そしてNACK5スタジアム大宮での試合には、何か特別な想いがありましたか。

**西野** 学生時代からゆかりのあるNACK5スタジアム大宮は

もちろんですが、埼玉スタジアム2002、浦和駒場スタジアムになると、地元で戦うという緊張感に包まれますね。

**市長** いろいろと刺激にもなりますね。

**西野** さいたま市に来ることは、本当に強いモチベーションになります。

**市長** サポーターの応援がすごいということでも、全国に名がとどろいています。





## スポーツには さまざまな分野に 波及する力がある

てスポーツ人口が増えていく。そうすれば、その波及効果で経済や教育、さらに地域コミュニティの再生など、新しい絆づくりにもつながります。さらに今後については、スポーツシユレ<sup>(※2)</sup>という構想を持っています。

**西野** ドイツにもありますね。

**市長** はい。今までは、大会を誘致することが大きな目標でしたが、これからはスポーツシユレで、市民の皆さんにどうスポーツを浸透させていくのが、大きなポイントになります。

西野さんはスポーツシユレを、ドイツをはじめ、ヨーロッパで見てこられたと思いますが、さいたま市は施設的には比較的恵まれておりまして、これらをつなぎ合わせ、合宿などを誘致しようと思っっています。また、スポーツ医学や栄養学、メンタルヘルスなどソフトの部分もしっかりとアドバイスできる組織づくりを目指しています。

**西野** 素晴らしい構想ですね。

**市長** 例えば、サッカーや自転車など、さいたま市とゆかりのあるスポーツを中心に、スポーツ医学をはじめとするさまざまなノウハウを集積する。それを子どもたちや、市外か

※1 スポーツコミッション  
スポーツイベントの誘致と開催支援を通じて観光や交流人口の拡大を図り、スポーツの振興と地域経済の活性化を目的とする団体。

※2 スポーツシユレ  
スポーツ施設とクラブハウス、研修や宿泊などの設備を複合的に併せ持つ施設。本市では、既存の各施設をつないで活用するネットワーク型の形態を検討している。



▲スポーツコミッションが誘致したスポーツイベント

**市長** 対戦チームとしては、相手サポーターの強力な応援というのにはなるものですか。

**西野** 普段はあまり気にならないのですが、特に浦和レッズが相手で、そのホームスタジアムだとすると、これは強烈なアウェー感がありますね。他のどのスタジアムに行っても味わえない感覚です。

### さいたま市の魅力

**市長** さいたま市出身で、サッカー界を支えている西野さんから見て、さいたま市の魅力はどのようなところでしょうか。

**西野** サッカーのまちというのはもちろんです。住みやすいというのが魅力ですかね。落ち着いていて、静かで、住みやすいというイメージを昔から持っています。

スポーツが盛んなことも魅力の一つです。その中でも、やはりサッカーではさいたま市がリーダーとなって他の地域をけん引してほしいです。

### スポーツで

### 日本一笑顔あふれるまち

**市長** 今、さいたま市は「スポーツで日本一笑顔あふれるまち」を目指し、スポーツのま

ちづくりを進めています。

**西野** さまざまな分野にスポーツを活用したまちづくりをするということですか。

**市長** そうです。単にスポーツを振興するというだけではなくて、スポーツが持っている力を活用して、さまざまな地域の課題を解決していくということなんです。そのエンジン役として誕生したのが、スポーツコミッション<sup>(※1)</sup>で、日本で最初に立ち上げました。全国大会や国際大会を誘致して、たくさんの方がそれを観に訪れ、さらに大会を見た子どもたちが刺激を受けてスポーツを始めて、結果とし

**西野** スポーツには、さまざまな分野に波及する影響力がありますから。

**市長** スポーツだと、皆さん手放しに元気になります。その



意味で、スポーツシュールを早く立ち上げ、スポーツ団体の支援を得ながら、指導者や審判の育成、子どもたちへの指導ができればいいなと思っています。

最近スポーツの指導も科学的になっていますが、西野さんはどのように感じますか。

**西野** 選手たちは、かなり進んでいます。採血や体重測定などのデータ収集はもちろんです。栄養学・医学にも関心が高いですね。指導者たちもただ走れ、ただ練習しろ、では通じない。常に理由を求められます。科学的な知識のある人材がこれから本当に必要

で、人材の育成を考えることは重要ですね。

**市長** さいたま市でもそういったことが実現できると、かつてのサッカー王国がよみがえってきますね。スポーツで、夢を持っている人たちがたくさんいますので、早く実現できればと思っています。

**気軽にスポーツができる環境を整える**

**市長** まずは、スポーツができる環境を整えようということで、「スポーツもできる多目的広場」と称して、すぐ使わない土地にフェンスで囲いを

造るなど、簡単な整備をして活用できるよう進めています。管理も地域の団体などにお願いをすることを前提に、20か所くらいの整備を予定しています。

**西野** 昔は公園や河川敷に行ったらボールを蹴れましたけどね。  
**市長** 今ではさまざまな制約がありますから。

さらに部活動ですが、限られた時間の中で指導しなければなりませんので、指導者の能力が問われることが多くなります。今の子どもたちはたくさんさんの知識を持って部活動に入ってきますので、指導力がないと子どもたちと監督や

**スポーツの力で地域の課題を解決する**

コーチの信頼関係も築けなくなります。

**西野** せっかく積み上げてきた競技レベルが、中学に入ってから伸び悩むようなケースがあるので、指導者の育成体制というのは大事だと思いますね。

**スポーツ文化を感じ取ってほしい**

**市長** 西野さんはサッカー界の第一線で活躍されてきたわけですが、最後に、さいたま市で夢に向かって頑張っている子どもたち、皆さんへのメッセージをお願いします。

**西野** スポーツを通じて感動や達成感、仲間、夢といったものを得たり、感じたりする「スポーツ文化」に触れてほしいですね。そのためには、環境整備が必要でしょうし、行政や地域のバックアップも重要になります。とにかくスポーツや、他の何かに真剣に取り組んでほしいです。やはりサッカー王国さいたま市復活に向けて、特にサッカーに興味を持って取り組んでいただきたいというのが正直なところですね。

**市長** ありがとうございます。  
**西野** ありがとうございます。



**読者プレゼント!**

西野 朗さん直筆サイン入りサッカーボール **3**人

さらに **Wチャンス!**  
FM NACK5 30周年記念 スポーツタオル **50**人

【応募資格】市内在住、在勤又は在学の方  
【応募方法】1月15日(火)(必着)までに、はがき(1人1通のみ)で、住所、氏名、電話番号(在勤・在学の方は勤務先又は学校の名称も)、市報さいたまの感想を、〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課へ(抽選)。  
※市ホームページでも申し込みます。なお、結果はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

